

有限会社 エース外語

株式会社へ商号変更
2008年4月

〒182-0034 東京都調布市下石原1-22-2-101
TEL: 042-487-6035 / FAX: 050-7515-4033
Email: reach@zpost.plala.or.jp
英会話家庭教師の派遣: <http://www12.plala.or.jp/ACE/>
電話・英会話レッスン: <http://homepage2.nifty.com/ace-call/>

有限会社エース外語 代表取締役社長
市村 利一 Ichimura Toshikazu

独協大学外国語学部英語学科卒業。日本、カナダ、アメリカの各大学・大学院にて言語学、会話分析学、様々な英語教授法を学ぶ。その後、ECC外語学院、出版社アルクを経て、2005年に(有)エース外語を設立。



集等もホームページを活用して経費を抑えております。その分をお客様に還元し他社よりも安価な受講料でレッスンを受けて頂こうという方針なんです。

大門 生徒の事を一番に考える、社長の想いが伝わってきますな。

市村 現在は札幌から鹿児島まで全国展開しています。日本全国に1000名以上、外国人、バイリンガル日本人講師が登録しており、曜日や時間帯等ご希望に合わせて講師を派遣致します。現在の利用者様は3歳から80歳、シニアの方にも評判です。レッスンはご自宅、講師宅、カフェでも受講可能で、一番人気はご自宅のレッスン。特にお子様はリラックスした状態であれば言葉が出てきませんので、ご自宅でのレッスンが理想的なんです。

大門 なるほど。英会話は日本人の不得手とするところですから、マンツーマン指導は有難いですよね。

市村 日本人の多くは中学から大学卒業まで10年間は英語を勉強し、単語から文法まである程度は分かっています。では何が足りないか——それは“実践”です。ですから、当社では生徒さんが主体になって話すようなレッスンを進めます。最初はたどたどしくとも慣れると必ず話せるようになります。

現在は英会話講師派遣と電話のコースがメインです。これから、より受講しやすい体系を作り世界に広げていくことが目標です。将来的にはインターネット上で通話無料のSkypeのテレビ電話機能を活用して、アメリカに住む講師と日本にいる生徒が、あたかも会っているかのように対話できる形にしていきたいと考えています。



自宅、カフェ、電話でもOK! エース外語で英会話をあなたのものに

大門 御社では英会話の家庭教師を派遣なさっているそうですね。本日は講師の方にもお会いできると伺って参りました。

市村 彼はカナダ出身、そして彼女はイギリス出身の講師です。その他、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、スコットランド等の英語圏の講師は勿論、帰国子女や英語圏の大学・大学院を卒業した日英バイリンガルの日本人講師など様々な先生が揃っています。また、カナダの旅行会社と提携し、バンクーバーへの留学も斡旋しております。

大門 事業を始めようと思われた動機は何だったのでしょうか。

市村 ずっと英語関連の仕事に携わり、民間レベルでの対話が重要だという信念を抱いてきました。ですから、英会話を学びたいという方々

に手頃な価格で英会話レッスンを提供する事が私の夢なのです。そこで英会話事業へ向けて講師の採用から生徒の募集、無料体験レッスン等の準備を全て自分で行いました。当時は大変でしたが何とかなるだろうという希望もありましたし、何より夢があったので、平均睡眠時間が4時間の毎日でも頑張ることができました。そして2005年、エース外語をスタートしたのです。

大門 どのようなコースがあるのですか。

市村 幼児から小学・中学・高校、一般、法人までを対象に英会話講師を派遣する他、電話英会話コースがあります。固定電話からIP電話、携帯、PHS、Skypeまで電話さえあれば日本全国どこでも受講が可能です。また、TOEIC対策コース、バイリンガル養成コースも設けております。

当社はプライベートレッスンが基本です。大手スクールですと1回(45分)の受講で8千円~1万円ほど掛かるところを、当社では、バイリンガル日本人講師によるマンツーマンレッスンですと、1回(60分)3,500円から受講可能です。

大門 なぜそんなに安い価格で提供できるのですか。

市村 普通の英会話スクールでは、テナント料や雑誌・新聞・CMでの宣伝・広告料で膨大な経費が必要ですが、当社は簡易事務所を東京都内・北関東に構え、また生徒・人事募

GUEST COMMENT 大門 正明 (俳優)



マンツーマン指導で長く続けることにより、講師と生徒という関係を越えてより良い人間関係を築き、それが更なるスキルアップに繋がるのだそう。皆さんも英語を通じて日本と世界との相互理解、友好関係発展の為に、ぜひエース外語で英語を学んでみませんか。